

マザー・テレサ 真鍋 和子 (六、七の場面) めあて

テレサがしたことを周りの人々はどのように考えたのだろう。

反対の考え

- ・ほんとうに、一人で行くの？
- ・インドでは、子どもが多過ぎる。
- ・それがまた、貧しい人を増やす。
- ・顔をしかめた。
- ・こんな人たちがいちいち・
- ・どうせ助からない人たちにそんなことをしても、むだではないか。
- ・お金を寄付してくれる人
- ・食べ物を持ってきてくれる人
- ・協力してくれるシスター
- ・あちこちにつくられる家。
- ・世界じゅうの人たちが共感し、えん助の手を差しのべるようになる。

テレサに共感する考え

テレサ ノーベル平和賞を受賞

- 「世界じゅうの貧しい人に代わって、この賞を受けることにします。」
- ・ふだん着の白いサリーに、かわぞつり
 - ・貧しい人と同じ物を食べ、同じ所に住んでいる。
 - ・おしめない拍手
- 明るくて気さくな、アイディアとユーモアにあふれた人として、だれからもしたわれている。

テレサが一人で始めたことであつたが、周りの人々はだんだんと共感するようになっていった。

7 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー (六、七の場面) 活動のねらい

周りの人々がだんだんテレサの考えに共感していったことを読み取らせる

- 1 テレサがしたことについての周りの人たちの考えが分かる叙述を探し、**反対と賛成に分けて線を引く。**
 - ・ 反対の考えに青線を、共感する考え（賛成）が分かる叙述に桃線を引く。
- 2 周りの人々のテレサに共感する考えについて、**叙述を根拠に交流する。**（発問）テレサに共感する考えをもつ人たちは、どのように変わっていったのかを発表しましょう。
 - ・ 共感していった人がだんだん増えていった。
 - ・ 反対の考えをもっていた人たちも、テレサのがんばりに心打たれて、援助の手を差しのべるようになった。
- 3 ノーベル賞を受賞したテレサの言動や周りの人の様子から、**テレサの生き方や考え方を読み取る。**

テレサの授賞式での言葉や姿を根拠に、テレサの生き方や考え方を話し合おう。

会場の人たちのテレサに対する考えを、叙述を根拠に話し合おう。
- 4 **ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。**
 - ・ 六、七の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめて書く。

【評価】テレサの周りの人々の行動や言葉に表れている考えを読み取っている。

色分けして叙述に線を引く。(反対の考え...青線、共感する考え...桃線)